



高校日本記録・中学日本記録を更新

3月23日海外遠征から帰国したスピードスケート選手の中村奨太さん（高校2年）と隼人君（早来中3年）が瀧町長を訪れ、海外での結果を報告しました。

奨太さんはカザフスタンで開催された第7回冬季アジア大会男子団体追い抜きで金メダルを獲得。W杯ソルトレーク（アメリカ）大会では1500メートルで高校日本記録を樹立しました。遠征続きで時差ほけや練習不足に悩み、万全な体調で望むことができなかったにもかかわらず「とても良い経験になった」と長期間の

海外遠征を振り返りました。

「兄弟の今季シーズン（カナダ）でくるカルガリー（カナダ）でのオリンピックピックオーバーファイナルに出場した隼人君は、3種目（5000メートル、1000メートル、1500メートル）において中学日本記録を樹立。3000メートルでは高校日本記録まであと1秒という好記録でした。進学が決まっている隼人君は「ライバルも多くなるけど、先輩たちに追いつき・追い抜きたい」と来シーズンへの意気込みを語ってくれました。

冬季アジア大会の金メダルを手にとった瀧町長は「とても素晴らしい活躍に言葉も出ない。長い遠征お疲れさま」と二人を慰労。「これからは兄弟対決もあるだろうし、3年後のソチ五輪がとても楽しみ。怪我の無いように、体に気をつけてください」と激励の言葉を贈りました。



世界ジュニア競技会での銅メダル（右）と冬季アジア大会で獲得した金メダル（左）

「経営企業致誘町安 小ワークで地域経済を



継続した取り組みを

3月24日おいわけふれあいセンターいぶきを会場に「食・環境・ネットワークで地域経済を活性化させよう」をテーマにした経済セミナー（安平町誘致企業会主催）が実施されました。

「生涯初の講師」と話しをはじめた春雪サブルー株式会社信氏は「自分が実践から得たことをお話しできれば…」と経験談とポイント「経営は永続的に続けることがとても重要」と来場者に伝えていました。

講演前に会が合併後から継続して町内小学校への入学児童に贈っている記念品が、大場正志会長より教育委員会へ渡されました。



思い切りが大事

3月25日から3日間、第5回ABIRAMIXクニカッブキッズアイスホッケー大会がせいこドームで開催されました。最終日の歓迎レセプションでは、名誉大会長の三國清三さんと長野五輪金メダリスト清水宏保さんが来町。清水さんは、現役当時の苦悩やアスリートを目指す子どもたちについて語り「自分磨き」について語りました。平常心で試合に臨むにはどうすればいいのかわからない質問に対し「これまでやってきたことに自信を持って、思い切り行くこと」と実体験からアドバイスするなど、目標をもって挑戦する大切さを子どもたちに伝えました。



「私の役者人生」

3月29日追分公民館で開催された文化講演会は、俳優の笹野高史さんを向かえて実施されました。

「自らの本を出版してから講演依頼が来るようになったのですが私の話しはこれっぽちもためになることが無く雑談ですいません」と会場に笑いを与えてから徐々に笹野さんが選んだ役者人生のエピソードなどを語り始めました。

楽しいひとときを与えてくれた笹野さん。来場者にサイン色紙のプレゼント（抽選）も用意されました。

